

1994年11月号

ウイッズ

# Weeds

〒862

熊本県熊本市保田庄本町5-29

TEL・FAX共通

096-382-0861

**新連載**

## 30年をありかえって

澤田 新一



私が生まれたのは、日本国中が東京オリンピックの話でもちきりだった、昭和39年6月のことです。

当時の話を聞けば、初めての男の子の誕生ということで、両親の喜び方はそれは、大変なものだったそうです。ところが、近所の同じ頃に生まれた子と比べて、どこかおかしいということで、あっちこっち病院を回ったのですが「ただ発達が遅いだけ」としか言われず、熊本大学病院で「脳性小児マヒ」と診断されたそうです。今以上に障害者に対する偏見や差別は強

かつたでしょうから、かなりショックを受けたろうと思います。

小学校に上がるまでは、ずっと家で過ごしました。テレビの前に座って、子供用の椅子に座って、ずっとテレビを見ていたのを覚えてています。ただその頃のことはそれ以外あまり思い出せませんが、施設に入った日のことは、今でも鮮明に脳裏に焼き付いています。

私も含めて、養護学校の出身者は幼い頃から親元を離れて暮らさなければなりません。それが、どういうことか、当事者の気持ちは後で述べるとして、私の場合、就学と同時に、養護学校に隣接する機能訓練を目的とする施設に入れられました。親としては、就学年齢に達していることと、少しでも機能が回復すればということからだっのでしょう。

昭和46年4月1日、親元を離れての生活が始まりました。この日の事は、20数年経った今でもはっきり覚えています。私が小学2年生の時に現在の場所に移転したのですが、このころは、木造の建物で近くにかんづめ工場があって、窓を開けていると匂って来ていました。両親に連れられて玄関入り、用意された部屋へ行くと、やはり私と同じように今日、入園という数人の男の子が先に来ていて、家族が床灯台に荷物を整理していました。この瞬間から彼らとの腐れ縁が始まろうとは・・・、部屋の造りは一見、病院の病室のようなかんじで、壁には「あいうえお表」やテレビの主人公の写真が貼ってあり天井から、手の利く園児が折ったか誰か面会に来た人が持つて来たのか、千羽鶴の束がいくつも吊してあって、高い棚の上にテレビが置いてありました。

リハビリ器具を見たり、ブランコに乗ったりしているうちに、いよいよ別れの時間になりました。いつもなら一冊しか買ってくれないので、この日は3冊買ってくれた絵本を一人で広げていると、だんだん淋しくなって、夜遅くまで泣きました。

私は、ここに小学校から中学3年まで在籍したわけですが、一番の楽しみといえば週一回の面会日と、年に3~4回の帰省でした。毎週水曜日が面会日になっていました。しかし、平日ですから学校があるわけで、面会時間は1時間くらいでした。時々祝祭日と重なった時は、久しぶりに兄弟にも会えて、ゆっくりとできたのですが、時間になって駐車場まで見送りに行き、車が見えなくなった後一人で車椅子をこいで部屋まで帰る時は「自分だけ、どうして」という、淋しさと悲しさがこみあげてきたものです。でも、私のところは、ほとんど毎週来てくれていましたが、なかには2か月ぐらい来ないところもあって、水曜日は、授業が終わっても面会の時間が済むまで部屋に帰つて来ない人が何人もいました。

帰省については、序々に帰れる回数が増え、私が退園まぢかの頃になると月に1回、希望者は帰つていいようになりましたが、入園して数年は夏と冬それぞれ2週間ずつでした。帰省の20日くらい前になると行事予定の黒板に「園児一時帰宅」と、掲示されあと何日と指おり数え始めて15日になり、10日前になり、5日前となると、あ食事が何回、ウンコするのもあと何回とか、前日は、なかなか眠れず、当日の朝は普段はゆっくりしてゐる人がこの日ばかりは、一番先に歯磨きしたり、朝食なんか箸はほとんど付けず「家に帰れるんだ」という嬉しさで、とてもじっとしていられず、寝具を片付けたり、掃除したりしてると、家族が迎えに来て、帰省中の注意が1時間くらいあって、それが済むと帰つていいということでした。何ヶ月ぶりにわが家の車に乗つて、途中で食べたアイスクリームの味は格別でした。家がちかづくとなつかしい風景に、車で1時間で往復できる距離なのに、普段もの凄く遠い所にいるような気がしたものでした。久しぶりに家族水いらずの夕

食は、それはそれはテーブルに並びきれないくらいのご馳走が並んで、楽しい反面、「自分は、毎日きついめにあってるのにいつも、こんなにうまいものを食べているのか」という気持ちもしました。

帰省中の最初は、久しぶりのわが家でホッとした気分ですが、2、3日もすると、妹の友達が遊びに来て、遊んでるのを見ると又、別の淋しさがこみ上げて来たものです。家から離れて地域の学校に行ってないわけですから、友達がいないのです。それに、近所の人が家に来ても、その人がどこの誰か分からず、向こうもキヨトンとしたり、なかには「このお宅に息子さんがいらっしゃるとは、知らなかつた。」と、言われたり、つまり、地域での存在感がないのです。普通、田舎ですから何処々の家が仕事は何をしていて何人家族かとか、皆、知っているのに、地域の学校に行ってないから私の事をほとんどの人が知らないわけです。

小学4、5年生までは、帰省中に日帰旅行に毎年行っていましたが、段々体が大きくなると介護が大変になってきたのでそれからは、帰省中は家で過ごしました。15日間の休みは、あっという間にすぎて帰園する前日など「このまま、時間が止まればいいのに」と何度も思いました。その日になって、車で走っていて道路から建物が見えてくると、たまらなく、いやな気分になったものでした。館内は休み中にはすみずみまで清掃されていて、消毒の臭いがしていて、誰もかれも休み中に買ってもらった服やオモチャをバッグいっぱい詰め込んで帰園してきます。園でだされた食事は、次の日の朝食あたりまでは皆、家でおなかいっぱい食べててるから入らないのです。

毎回のことながら、帰省する日は嬉しさでいっぱいですが、帰園する日くらいいやな日はなかったです。送ってきた家族が帰った後、テレビを見たり、友達と話をしたりして気がまぎれます。消灯時間になって暗い天井を見上げていると休み中に家族と過ごしたいいろいろなことが思い出されて、皆、布団をかぶったりして泣いたものでした。でも、今になって思えば、あの時、流した涙は単に淋しいというだけでなく、「地域の学校に行けたら、こんな思いしなくていいのに、障害者であるということで何故、こんなめにあわにやならんのか」という、不当な扱いに対する「怒り」をこの頃から覚え出したように思いますし、又、この「怒り」というものは生きて行くうえで凄く大切な事であると、私は考えるのです。差別を受けても、それがどういう事なのか考えて活動し、変えていく、そのエネルギー源は、「怒り」なのです。だから、私は生涯、「怒り」を忘れずに生きて行きたいと思うのです。

[次号へ続く]

# 福岡一人旅

～徳永英明さんに会いたくて～

松永敏子

私は10月25・26日と福岡へと旅に出ました。福岡へ行く理由は、そう、それはタイトル通り私の愛する（ただのファンに過ぎない）徳永英明さんに会うためでした（超ウツケモノ）

そう25日はとてもお天気が良い日でした。風が少し強くてうすめの上着をおしゃれに着こなして送迎のリフトカーを待っていました。私の連絡ミスでリフトカーは時間を大幅に遅れて熊本駅へ到着して（計画では11:05の有明に乗る予定でした）駅長室前の案内係の人へ父が書いた駅長さんへの手紙を渡し、駅員さんたちが優しく私をホームに案内して下さいました。しばらく時間があるとの事を聞き、売店へ行き福岡の友人へ2つのお土産を買い、またホームへと戻り、すぐ駅員さんが私を昇降リフトに乗せ福岡行きのホームへ運んで下さいました。（はじめて昇降リフトに乗ったのですが、そんなに怖いとは思いませんでしたし、駅員さん一人で操作が出来るのがとても良いと私は思いました）12:48の列車に私をのせるために駅員さんとお客様が協力して乗車させて下さいました。福岡の博多駅へつくと福岡の徳永さんのファンクラブの白木さんが私を待って笑顔で迎えて下さいました。「一人でよう來たね」と白木さんの第一声（1列車乗り遅れたことを詫びて、宿泊するホテルへ向かい、そしてそこへメッセージと電話がかかり、平野みどりさんのご友人、車椅子市民集会の福岡の実行委員の吉浦美和さんにお会いする約束をしていた私が…。白木さんと天神へ（地下鉄で向かう）ホームについて白木さんと私は吉浦さんの姿を探し、白木さんが「どんな人なの」と私に聞く。「はじめて会う人なんです」と文字パンで話し、地下鉄の駅員さんの誘導で地上へ。「もしかしたら『つくし会館』にいてくれてるかも」と白木さん。徳永さんのファンの集いがある会場、そして吉浦さんとの約束の場所であるつくし会館にやっとつく。ファンの集いのために並んでいたファンの方たちに吉浦さんのこと聞くとさっきまでいらしたとのこと。約束をすっぽかしてしまったことに吉浦さんへの申し訳なさが心の中で膨らんでしまう。そんな中、時間はどんどん進みファンの人達もどんどん増えていき、私が電動車椅子であることで席につくのは危ないとスタッフ（係員）の人の指示があり、私も最初はどうして？と思っていたが、そのうち私は一人でここまで来れた、それでいいじゃない、会場内に入れるのだし、遠くからでも徳永さんに会えるのだからって（考え方を変えて、他のファンの邪魔にならない所へ（ドアの横）移動しました。すると（私がつく前から白木さんのファン仲間の人達が私のことをスタッフの人に話して下さっていて）スタッフの人が出て来て「少し歩けるのなら席についてもいいですよ」と先に誰かが席を確保してあとでこの方を連れて来ればいいですからね」との優しい言葉。その言葉を聞いて白木さんも私も喜びで涙があふれ出て来て止まりませんでした。白木さんは本当に自分のことのように喜んで下さいました。ちなみに私が座れた席は2列目の32番という最高の席でした。徳永さん

の瞳の動きまではっきりみえる席でした。やっぱり徳永さんは最高でした。心の恋人とまたこの次も会える日が早く来たらいいのになあーって、心の中で思ってしまった私でした。

なんてロマンチックにひたるのはここまで。ファンの集いも終わり、私を助けて下さったファンの人達とも別れ、白木さんが私をホテルへ連れて帰って下さったのは9時半過ぎでした。白木さんは私が一人で泊まることがとても心配でたまらないようすでしたが、白木さんも家庭があるのであまり引きとめるのもいけないと思い、大丈夫を連発して家族のもとへ帰っていただきました。部屋で一人になり、さあ帰りに買って来たパンを食べようと思ったとき「ツルルルル」と「ツルルルル」と電話の音、出てみると姉の声、「いま帰ったの、徳永さん良かったよオーヴ」ところでねエ私、吉浦さんにあえなかったの、ごめん、吉浦さんに電話してあやまつって」と姉にいい電話を切る。そしてパンだけを食べるのも芸がないと思い1階にあった居酒屋へ？9時半過ぎだということで入れてもらえず。フロントで自動販売機を聞き、せめて冷たいビールでもと思いながら行くが残念ながら売り切れがつかりして部屋へ帰ろうかなーとした時、売り切れの隣にお酒の自動販売機が部屋へ帰りシャワーを浴び、うちから持つて来た『かっぱえびせん』を口にはおぱりお酒を飲んでパンを食べて、ついでに母の写真と話しをして……。睡魔が私をおそうのに時間はかかりませんでした。

翌日はタベフロントで頼んでいたモーニングコールからスタートしたのでした。（吉浦さんからの優しいFAXが届いていました）タベの残りのパンを食べて帰りのしたくを整えて、充電器を電動車椅子のかごに入れてもらうためにフロントに電話を入れたら、すぐフロントの人が飛んで来て下さいました。チェックアウトをすませ、博多駅へ行きお土産を買い求め、そこでうちへ電話を入れてもらい（お土産屋さんに頼みました）改札口へ行き駅員さんへ姉に書いてもらった列車の時間を見せ、すぐ駅員さんがわたしを駅長室へ連れて行って下さいました。しばらく時間があるのでおなかの薬を飲むために缶ジュースを売店へ買いに走りジュースを買ってモジモジとバッグを開めていたら、きれいな外国人の女の人がサーと来てサーと閉めて下さいました。やっぱり外国人は違うと思いました。駅長室へ戻りジュースで薬を飲んでいたら昨日お世話になった駅員さんが「楽しかったね」と優しく声をかけて下さいました。改札口を通らずホームへ。車上人となった私でした。熊本駅について昨日お世話になった駅員さんたちが「楽しかったね」と優しく声をかけて下さいました。駅員さんたちにお礼を言って駅の玄関口をうろついている時に迎えのリフトカーが到着し家路に向かいました。

私は今度の旅で色々な事を勉強出来たのではないかと思いました。障害者が一人旅を楽しむ事が出来るのは多くの人達の小さな愛がたくさん集まり、私を通してつながって膨らんで行くからだと私は思ったのでした。私が列車の約束時間に遅れたことも駅員さんたちは何にも言わずに優しく私に接して下さいました。そして白木さんもまた列車が遅れた事にはふれられずに私を気づかって下さいました。吉浦さ

んもあれだけ迷惑をかけた私に優しいFAXを送って下さいました。いつも誰かが私が困った事があるとそばにいて私を助けて下さるのでした。

ただ、ただ徳永さんに会いたい♪そこから始まった私の旅でしたが、旅に出たこと今まで知り合えなかつた人と出会い、たわいもない話しに花を咲かせて、その人達が届託のない笑顔で私を見て下さる♪これが本当の幸せなのかもしれないと思つてしまつた私がそこにいたのでした。

私を優しく手助けして下さった皆さんにあ・つ・く感謝致します。

でも本当に徳永さんっていつ見てもよか男(最高にハンサム)でした、幸せ

## JR通勤 その2

松永さんが電動車イスでJR通勤を始めて1ヶ月が過ぎました。水前寺駅からセンターまでの道は、電動でどうにか一人でも遅れずに着けるようになりました。

駅でノートを見せながら声を掛け、乗降のボランティアを頼むのも、だいぶうまくなりました。時には知らんぶりされることもあるけど、めげずに声を掛ければ一人や二人は必ず手を貸してくれるものです。

ただ問題なのは、通勤・通学のラッシュをさける時間帯を利用するようにということなので、いつも決まって利用している人が見つからず、毎回別の人々に介助のやり方をわかつてもらうのに時間がかかってしまうことです。

そこで、別紙のようなイラスト入りの「おねがいカード」を作つてみました。またこれをチラシにして予め多くの人にやり方を知つてもらうことも考えています。やはりすぐそばにいる人が、いつでもボランティアになってくれるのがBESTで、決まつた介助者がついていなければ利用できない状態は早く脱しなければと思います。

それに、武蔵塚駅に「スロープが必要だネ」という声は、介助してくれた方々からも、しばしば聞かれます。道路からホームへのスロープ(巾70cm×長さ200cm)、そしてホームから列車への乗降時にとりつけるスロープ(巾60cm×長さ130cm)の最低2枚は必要です。また、2番線でも乗降できるためには、さらに(70cm×300cm)のスロープ2枚が必要になります。

JRの方でもスロープを取り付けることには同意されていますが、予算の関係でJRに付けていただくことは当分期待できそうにありません。それで丈夫で軽くてなるべく低予算でできる簡易スロープを探しています。どなたか力を貸してくださいませんか?

松永さんは、仕事にもなかなか意欲的ですが、まだ通勤にかなりエネルギーを使つてゐる様子です。早く安心してJRが利用できるようになり、仕事でも活躍できればと期待します。

## 県同教大会に参加しての感想

10月22日・23日に阿蘇町立体育館で県同教大会がありました。1日目の朝は労働センターに集合して、阿蘇町立体育館に行きました。県同教大会に参加した人は6人でした。労働センターのリフトを運転してもらった先生は熊本工業高校の前田先生にお願いしました。体育館に着いたのは10時過ぎに到着しました。お昼までは外のほうで販売だったのでとても寒かったです。夕方になってからは、体育館の中での販売だったのでとても楽しかったです。1日目の大会が終わったのは4時45分に終わりました。私と、野口さんと、倉田さん3人は下原さんの家に泊まりました。夜の7時ぐらいから下原さんの家で飲み方が始まりました。私はちょっとずつビールを飲んだんですけど、すぐ顔のほっぺたが赤くなりました。けれどホタテとか刺身とかおでんとかいろんなご馳走が出ました。

2日目の朝は8時15分に体育館につきました。そして販売した所はちょうど体育館の玄関でした。2日目はちょうど差別とか、いじめについての話が体育館であってたから私は聞きに行きました。障害を持つてる人にいじめや差別をする人は本当にひどいし、かわいそうと思いました。私も中学校の時にいじめられました。黒板消しの粉を制服に着けられたり靴の裏の汚れを着けられたり画鋲を椅子の上に置かれたりしました。だから私は中学校は嫌でした。

販売の売り上げは42650円でした。1日目も2日目も寒かったので労働センターの倉田さんが近くのスーパーでカイロを買ってきて100円で売っていました。そして私がカイロ一つ100円で売っていますと呼び掛けを先生達にしたら買ってくださいました。私はとっても嬉しかったです。そして最後に県同教大会に私の小学校時代の先生が来ていたからとっても久しぶりで、とっても嬉しかったです。それと県同教大会に来ていた先生達は約400人ぐらいでした。

県同教の先生達、県同教大会のに時はお疲れ様でした。お世話になりました。又いつか販売があった時は宜しくお願ひします。そして熊本工業高校の前田先生、1日目の時はリフトを運転してもらってありがとうございました。そして、阿蘇の下原さん1日目の夜は泊まらせて下さってありがとうございました。

くまもと障害者労働センター 市瀬 恵

## 電動車椅子の運動会

澤田 新一

10月の抜けるような青空のもと、「くまもと電動車イス使用者の会」主催の電動車椅子の運動会がおこなわれました。

プログラムは少ないものの、40数名の参加者で午前中は、ポールの間をジグザグ走行やバックでスリッパのスラロームがありました。スタート時にタイムを申告して、そのタイムに近い順に順位を決めるというルールで、みんな日頃の日常生活で鍛えた腕前を思いっきり発揮していました。

昼食後は今大会のメインともいえる養護施設の「愛燐館」チームとの電動サッカーの試合でした。私も出場しましたが、その激しいと、車椅子のステップの先にガードを付けて、それでボールを押していくわけですが車椅子同士でぶつかったり、急停車、急旋回などコートいっぱい走り回って健闘したのですが、「使用者」チームは惨敗でした。

この運動会を行なうにあたっては厳しい財政でしたが、車椅子メーカーの「三協車椅子制作所」や「スズキ自販」に協賛いただきました。

プログラム終了後は、テレビでも報道されましたが、街を低床バスの導入を求めて全員で上通り、下通り、新市街とパレードをして終わりました。

## 希望荘文化祭に参加して

平島 浩美

10月23日（日）希望荘文化祭のステージ発表と、販売の手伝いをしました。ステージ発表では、サークル仲間として私は参加しました。「たんぽぽ」は黄色い花の形で途中手話をしながら、「ドレミの歌」では、ハンドベル演奏を挑戦しました。最後に歌のゲーム「ハレルヤ」を会場のお客さんと、サークルの人たち、歌の追いかけっこで3曲歌い演奏しました。

販売は、11時に開始してから、1時間ぐらいすると何人かのお客さんが買にこられ昼食後、私は一人でお客様と対応して、てんやわんやの忙しさで、計算も混乱しました。終わる前、ちょうど日本シリーズ（KKT）で見ていたら巨人が1点取って先発もその後交代していました。販売終了後、牛乳パックを回収して、松井さんから、おみやげにクッキーを（ライン工房でつくった）いただきました

ステージ発表で緊張したけど、よい1日を過ごすことができました。

## 車イスロードレース その2

澤田 新一



私は、先月号で「ロードレースの競技上の注意の中に差別的なものがあった」と書きました。これが具体的にどう「差別的」であると考えるのかを書きたいと思います。

本来、ロードレースの趣旨や目的は、「障害者が中心になって、どんなに重度の障害者でもスポーツをした後のすがすがしい気持ちをあじわって、又、それを通じて自分達の存在や、こういうことが出来るんだ」と社会に訴えて、理解を深めていくものと考えます。私は今年、10年居た施設を出て自立生活を始めました。日常生活では電動車椅子を使用しています。

近年、電動でも出来る競技が増えてきましたが、やはり手動で走り終えた時の何ともいえない気持ちよさが味わいたくて手動での参加をしました。（手動で毎年出ている）しかし、私のように重度の者には車椅子をまっすぐ走らせることは大変な作業なのです。まして今年のように一般道だと路面はかまぼこ型ですから自然と端に流されてしまうため、走りやすい真ん中を走るわけです。競技上の注意の中に「遅い人は速いのためにコースを開けること」と、まるで速い人が優先とされているのです。実行委員に障害者が入っているのに、、、。

## 熊本靈界情報（その1）

皆さんは靈を信じていますか。私は科学を学んだものとして信じておりませんが、どうしても理性では理解できない不思議な現象に何回か出くわしました。その一つを紹介します。

私の家の墓は熊本市の東方の丘の中腹にありました。椎や檜の古木に囲まれた薄暗い土地に、苦むした小さな石碑が三十くらいあったと思います。彼岸や盆のころはそこに線香とロウソクをあげるのが子どもの役目で、あっちの墓こっちの墓と競争で駆け回ったものです。線香はすぐ終わるのですが、ロウソクはわずかな風でもすぐ消えるので、何度も火をつけてまわっても、いつも全部のロウソクに火を灯すことはできませんでした。

10年ほど前に、よその家と共同で集合墓を作ることになりました。いよいよ移転する段になり、一族そろってお参りしたのですが、いつもならすぐ消えるはずのロウソクが最後まで全部消えそうにありません。しだいにあたりは暗くなっていましたが、大人も子どももお参りがすんでも、呆然と眺めていました。「最後だけん、ご先祖さんの皆出てこらしたばい」と誰かが言えば皆うなずき、空を見上げると薄暗い墓所にそびえる古木には、あちらにもこちらにも先祖のたくさんの魂が宿っているように揺れていました。今でも薄暗闇にゆらゆら揺れて燃え続ける30本のロウソクが脳裏に焼きついています。たまたま無風状態だったと言えばそれまでですが、こんなことはそれまで一度もなかったのですから。

その後、土葬のお墓は掘り返されて、明るく立派な集合墓に移されました。掃除や線香やロウソクやお花をあげるのはらくになりましたが、何か足りないので。もう、靈でうごめいているような場所ではありません。お骨を納める石棺でしかありません。私一人でもあの森に埋めてもらい、靈となって木々の梢に宿りたいと父や母に言っておりましたが、数年前の台風19号で椎や檜の巨木はみな倒れてしまったのです。何千年前から生きてきた精靈がガラガラと崩れ落ちて消え去ったようで、とても落胆しました。

私はこんな体験があるからか、大きな古木に出あうと、手で幹に触れオーラを感じとります。人や動物や植物をずっと見て生きてきた木の靈のようなものが、伝わってくるような気がするのです。このような靈と巷を賑わしている靈はかなり違うように思います、どうでしょうか。

さて、これから何回か連載して靈の情報を伝えします。靈に取りつかれて困っ

ている人、靈で大儲けさせてもらっている人、靈が大好きな人。絶対に信じない人、いろいろとおられます、ここでは、眞面目に科学的に取り上げたいと思います。

つきましては、アンケートを行って皆さんの体験談を募集しております。そして宣保愛子さんを越える人を発掘して、労働センターの一員として、金をかせいで頂こうと思っております。ヨロシク。

## プロレス観戦して

10月5日夕方6時30分からあるWARのプロレスに行きました。6時すぎに市体育馆につき会場へ入りました。もうその時はたくさんの方が入っていて、中ではサイン会が始まっていて何人かの人達が並んでサインをしてもらっていました。僕もサインをもらおうと行ったけど知らないレスラーだったのでやめました。時間も時間でしたので席に行こうとしたら席が分からなかつたので席の案内の人へ聞きましたが最初は捜してくれていたけどいつのまにかいなくなつて困りましたがまあいいや適当に場所に行こうと行きました。6時40分過ぎに第一試合が始まりました。第一試合は、女子プロレスでした。レスラーは、知りませんでしたが生で見るプロレスでしたのでマットに叩き付ける音にびっくりしたし、興奮しました。二試合目からは、男子のプロレスがありやっぱり男のプロレスは、ひとつ、ひとつの技に力があり、見てる方としても力が入るものです。女子プロレスは、力は、そんなになくても動きが激しくて声が大きい事に圧倒されます。

試合は、後半に入りいつもテレビで出ていたレスラーが登場してきました。後半戦は、タッグ戦でした。アニマル浜口、U・ドラゴンVS冬木弘道、外道でした、この試合は、乱闘が何回もあり、逃げるのに大変でした。前に座っていたおばあさんが恐くありませんかと聞かれいいえ反対におもしろいですよと言いました。最後の試合は、天龍源一郎、マードックVSケンドー・ナガサキ、嵐でした、最初から天龍組がイスを持っての反則攻撃ではじまり、あんな天龍見た事もないと思いながら観戦していたら乱闘になり又、逃げるのに大変でした。しばらくしてリングの上の試合が始まり天龍のえんずいぎりが相手の口頭部に高角度に当るとすごいと思うし、パワーボームという技をすると思わず手をぐっとして、決まったーと思うと決まらずに又、これもおもしろいところです。この試合は、両者リングアウトでした。終わったのが9時過ぎでした、何より生で見られた事が楽しかったです。

K・O

## シングルCDベスト10

このベスト10は、緒方が選んでランキングしたものです。

1. 「世界が終わるまでは...」 ..... WANDS
2. 「こんなにそばに居るのに」 ..... ZARD
3. 「マリア」 ..... T-BOLAN
4. 「永遠の夢に向かって」 ..... 大黒摩季
5. 「Melodies & Memories」 ..... TUBE
6. 「シングルベッド」 ..... シャ乱Q
7. 「恋しさとせつなさと心強さと」 ..... 篠原涼子
8. 「君を見てみたい」 ..... 持田真樹
9. 「DIVE AIE CPAZY」 ..... 出下久美子
10. 「さようなら」 ..... 久宝留理子

### ベスト3について「一言」コーナー

まず第三位のT-BOLAN「マリア」この曲は、落ち込んだ時に心をそっと包み込んでくれるようなハートウォーミングな曲で今の僕が聞きながらいいなあーとおもっています。みなさんも一回聞いてみて下さい。

つづいては、第二位のZARD「こんなにそばに居るのに」雲行きがあやしい二人の関係に迷い。悩む女の子の気持ちが痛いほど表れています。女性アーティストの中で大黒摩季さんと篠原涼子さんとベスト3を争う実力持っている。僕は、男女でもベスト3を争うグループだと言えます。

いよいよ第一のWANDS「世界が終わるまでは...」大都会に投げつけられた空カンのように世界が終わったとしても僕は、一人で明日を夢を見るような歌の内容です。何と言っても僕は、曲のメロディーと詩といいヴォーカルNO.1の実力もっていると思っています。僕は、ZARDとWANDSファンです。

### オススメの曲

持田真樹「君を見てみたい」、TUBE「Melodies & Memories」  
シャ乱Q「シングルベッド」、T-BOLAN「マリア」いいですよ。聞いて下さい。

シリーズ10

## アルコール依存症を知る



### 抗酒剤の効果

アルコール依存症の治療に良く使われる薬に、シアナマイドやノックピンなどの抗酒剤がある。この薬は酒が嫌いなる薬のように勘違いされたり、ひどい副作用があると毛嫌いされる事もあり、あまり正しく理解されているとはいえない。抗酒剤とはどんな効果のある薬であろうか。

#### ①アルコールの代謝

抗酒剤の作用を正しく理解するためには、まず体内でアルコールがどのように分解されるかを知らねばならない。

口から摂取されたアルコールは90パーセント以上が胃や腸から吸収され、その80パーセントは肝臓で分解される。その経路は次ぎの通りである。

体内に入ったアルコールは酸化されてアセトアルデヒドになる。これには3つの酵素反応機構が働いている。アルコール脱水素酵素、カタラーゼ、ミクロソームにあるエタノール酸化系(MEOS)である。この中で主たる働きをするのはアルコール脱水素酵素である。

アセトアルデヒドは毒性の強い物質で、顔面紅潮、恶心、嘔吐、心悸亢進などの原因になるといわれている。これはアセトアルデヒド脱水素酵素の働きでさらに酸化されて酢酸になる。ここまで肝臓で行われる。

酢酸は各組織に運ばれて炭酸ガスと水にまで分解される。早い話がアルコールが体の中で燃やされるのであるが、この時、1グラムのアルコールは7カロリーのエネルギーを発生する。日本酒1升では、約2,000カロリーである。

アルコールの分解速度は、体重70kgの人で1時間に約7グラム。日本酒1合だと4時間ちょっとという計算になる。

#### ②抗酒剤の作用

現在、2種類の抗酒剤がある。無色透明の液体のシアナマイドと、黄白色の粉末のノックピンである。

「シアナマイド」は、肥料として用いられる石灰窒素に含まれているカルシウム・シアナミドから導き出された物質である。肥料工場の職員が酒に弱くなるところからその抗酒作用が発見された。シアナマイドは、肝臓でのアルコール代謝過程で、アルコール脱水素酵素の働きを阻害する。そのため少量の飲酒でも直後に強いめいてい感を起こし、顔面紅潮し、血圧低下、心悸亢進、呼吸困難、頭痛、恶心、嘔

吐、めまいなどを起こし、ひどいときには立つこともできなくなる。これをシアナマイド・アルコール反応というが、その強さはノックピンに比べて弱い。

「ノックピン」は、アルコール代謝の過程で、アセトアルデヒド脱水素酵素の働きを阻害する。そのため少量の飲酒でも大量のアセトアルデヒドが血中を回ることになる。そして、呼吸困難、心悸亢進、顔面紅潮、恶心嘔吐、血圧低下、めまい、脱力、視力障害などを起こす。このような反応は飲酒後5分から15分後に起こる。

### B 服用の仕方

抗酒剤がその効果を發揮するためには、服用時に体内にアルコールが入っていないことが大切である。アルコール分が残っているときには、いくら抗酒剤を飲んでも上に述べた苦しい反応は起こらない。ノックピンが十分な反応を起こすためには、服薬後12時間ぐらいは必要である。(S・ジンバーグによる)。飲酒していない状態で少なくとも一週間服薬を続けた場合には、その効果は約一週間持続する。シアナマイドは速効性があり服薬後すぐに効果を現わす。しかし、効果の持続期間は短くおよそ1日である。

飲酒をやめてからどれくらいの期間飲み続ければ良いのかについては、いろいろの考え方があり、担当医と相談しながら決めればよい。

この薬は自分から進んで飲むべきである。シアナマイドを味噌汁の中にいれたりして、本人に内緒で投与するのは、お互いの信頼関係を壊し、百害あって一利なしである。

次号へ続く

### 忘年会のお知らせ

今年も押し詰まってきたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、今年も労働センターの忘年会を下記の予定で開くことになりました。

つきましては、昨年同様各自一品何でもよろしいですので、食物、飲み物をお持ち寄りください。尚センターでも食物、飲み物は用意します。また、今年もりサイクルオーナー ションを企画していますので、ご家庭で不要な物はセンターまでお持ち寄りください。

昨年よりもっと楽しい忘年会にしたいと考えています。皆さん、どしどしセンターの忘年会に参加してください。

日時 12月9日(金) 6:30~

場所 くまもと障害者労働センター

会費 1,000円

\*出席の方は12月7日までに、ご連絡ください。

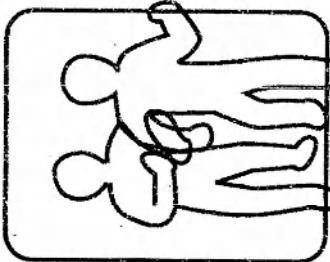
\*駐車場はありませんが、近くを借りる予定ですので、ご希望の方はお問い合わせください。

## やさしい介護講座

## 【JR実践編】

### 武藏塚で降りる時 手伝つてください。

- ① 私の脇に手を  
そえて列車から  
降ろしてください。



- ② 電動車イスを2人で  
列車から降ろしてください。



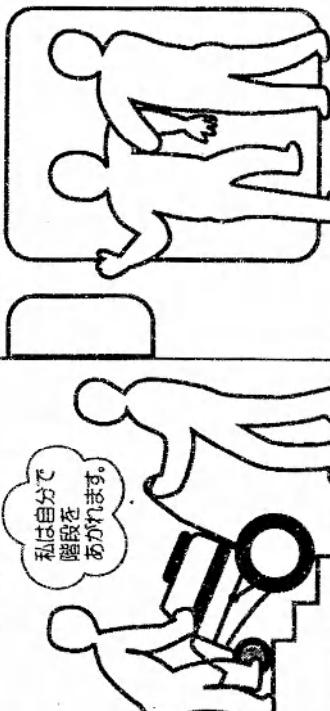
- ③ 電動車イスを2人で  
ホームから降ろしてください。



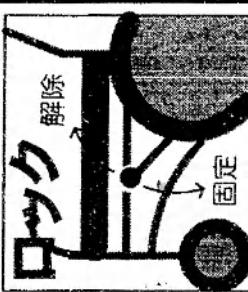
電動の両脇のブレーキ  
ロックをはずし（上に  
引き上げる）押すよう  
にすると楽に動きます。

### JRにのつて 水前寺まで 行きたいのです。

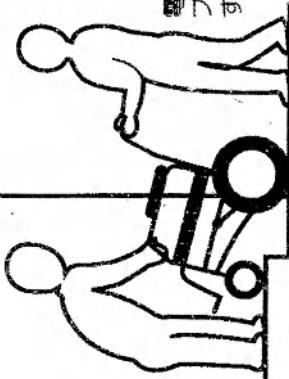
- ① 電動車イスを2人で  
ホームまであげて  
ください。



- ② 電動車イスを2人で  
列車に乗せてください。



電動は重いので、持ち上げずに  
ブレーキロックをはずして、押  
すようにすると楽に動きます。



## 10月の日報から

- 1日 くまもと生協健軍店販売  
米満先生講演会
- 3日 ワープロ（沢田）  
ヒューマン会議（倉田）
- 4日 矢部方面配達及びパック回収  
(矢部中学校・浜町小学校〔集金〕)
- 7日 パック積み出し
- 8日 くまもと生協販売（野口・入江・倉田）  
米満先生講演会（沢田・緒方・倉田）
- 12日 ワープロ（入江・沢田）
- 14日 パルプ作り（市瀬・野口・吉村・  
緒方・沢田）  
パック積み出し
- 15日 くまもと生協健軍店販売（市瀬・野口）  
通信（沢田・緒方・倉田・吉村）
- 17日 パルプ作り
- 18日 パック回収・配達
- 19日 ワープロ（沢田）  
紙すき（清水さん）
- 20日 再生紙の日（桜木店荷物運び）
- 22日 県同教大会
- 23日 県同教大会  
希望荘文化祭販売
- 24日 商品在庫数え（県同教大会・希望荘）
- 26日 くまもと生協パック作業
- 27日 パック積み出し・くまもと生協パック作業
- 29日 パック開き→パルプ作り

### 編集後記

朝・夕はめっきりと寒くなりましたが皆さんにはいかがお過ごしでしょうか。さて、今月号より「Weeds」の内容も充実したものが出来ました。新企画満載になりました。どうぞお楽しみ下さい。

尚、原稿もどしどし募集しておりますので、宜しくお願ひ致します。

くまもと障害者労働センター

編集長 久島雅樹

## 10月のパック回収から

1日	月出小学校	105.8kg
3日	個人	2.3kg
	平島様	0.3kg
4日	浜町小学校	129.4kg
	ひかり幼稚園	88.9kg
	ヤマギシ	69.5kg
	岡田コーヒー	19.9kg
5日	パック連	6.4kg
	西原小学校	4.3kg
7日	松崎様	5kg
8日	芳野小学校	145.8kg
11日	芳野中学校	87.4kg
	楠中学校	122.5kg
	キッチン岡田	17.1kg
13日	熊大生協	11.3kg
17日	井上印鑑屋	11.8kg
18日	秋津小学校	153.3kg
	有機の会	55.5kg
	熊大生協	9.4kg
	ソロップチミスト	14.7kg
	甲佐小学校	23.2kg
	サンリー寿屋	101.3kg
	尚山小学校	131.4kg
	尾ノ上小学校	74.7kg
	山ノ内小学校	38.4kg
	出水小学校	36.6kg
19日	帶山小学校	61.5kg
	ホーブ印刷（今村様）	0.5kg
	ソロップチミスト	0.7kg
20日	平島様	0.3kg
25日	ヤマギシ	4.6kg
	南ヶ丘小学校	8.3kg
	合志小学校	47.1kg
	秋津小学校	123.7kg
	山ノ内小学校	2.5kg
	東町小学校	91.7kg
	出水南小学校	140.7kg
	託麻西小学校	37.5kg
28日	個人	4.9kg
	スーパーレットタニダ	19.6kg

